

# 大分市のすみれ学級

## 子どもも食堂で朝食も取って

大分市で子ども食堂を運営する公益財団法人「すみれ学級」は、2月から同市小池原の集会所で毎週火、木曜日、朝ご飯を振る舞っている。親の共働きなどで朝食抜きの子どものために「一日のエネルギーを取り、元気に過ごしてほしい」と無料で提供。大阪などで同様の取り組みはあるが、県社会福祉協議会によると「県内では珍しい」という。

### 「成長には欠かせぬ」

### 地元から要望受け

3月下旬の午前7時前。小中学生の男女5人が集まった。食卓には炊きたてのご飯と湯気が立つみそ汁、納豆とゆで卵が並ぶ。「いただきます」。手を合わせて、静かに頬張った。「おみそ汁が大好き」。小学4

年の女子児童(9)は早速、お代わりをした。「すみれ学級」は2016年8月、調剤薬局を運営する会社「そとりん」(大分市)が同市敷戸西町に開いた。17年に一般財団法人化。同市大州浜(18年4月

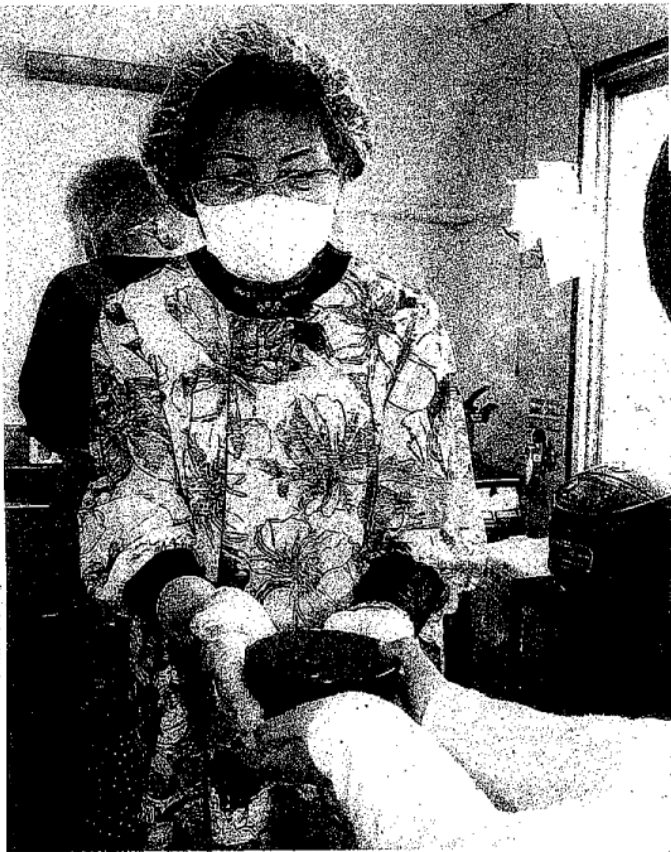
に大津町に移転)に2カ所目をオープンし、いずれも夕食の提供と学習支援に取り組んできた。今年2月に開設した小池原は3カ所目だ。活動を始めるのに当たり、地元からの要望を受け、初めてとなる朝の実施を決めた。

調理は近くに住む主婦坂東千津子さん(77)ら有償ボランティア2人が担当する。「子どもの成長に朝ご飯は欠かせない。何杯もお

宅へ戻った。「朝ご飯を食べた子どもは生き生きしている」。同法人の榎田雅文事務局次長(65)は「空腹では勉強に集中できない。一日のスタートを気持ち良く過ごしてほしい」と継続に意欲をみせている。

#### 子ども食堂

孤食の解消や貧困家庭の支援などを目的に、低額や無料で食事を提供する場所。県内では2016年ごろから増え始めた。県社協によると、月時点で33カ所ある。夕食や昼食時に活動している団体が多い。食事の支援だけでなく、誰とも気軽に集える地域の居場所づくりや学習指導などにも取り組んでいる。



「何杯もお代わりしてくれるとうれしい」と語る有償ボランティアの坂東千津子さん(大分市小池原)

「すみれ学級」の問い合わせは、榎田事務局次長(☎0800・27877・8484)。

(池田美香)